

# 擬

ギ  
キ

17画  
打 接 接 擬 擬 擬 擬

はわる

**なりたち** 赤子のおぼつかない足を「気づかう」意味の疑と手との会意形声字。赤子に手を貸そうかどうしようかと「考える」ことを表した字。「どうしようか」と考えること。転じて、本物かどうか疑われるほど「よく似ている」また、「似せる」意味。



いみじゆくこ

▼似せる。なぞらえる。  
擬音：映画や劇で、実際の音に似せて人工的に作り出した音。  
擬人：人でないものを、人になぞらえること。例 擬人法

擬声語：実際の音声をまねて表した言葉。「トントントン」「ニャーニャー」など。  
擬態語：ものの状態や動作をそれらしくあらわした言葉。「にこにこ」「ふわふわ」など。

擬態：様子を他のものに似せること。特に、動物が色や形をまわりのものに似せて身の安全をはかること。コノハチヨウが木の葉に似ていることなどがその例。  
模擬：本物に似せること。例 模擬店

**よみかた** 擬古・擬作・擬装

# 擬

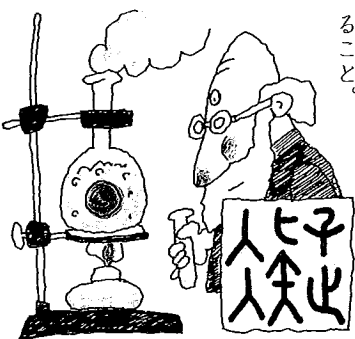
## 凝

ギヨウ  
こる・こらす

16画  
凵 冫 冫 冫 冫 冫 冫 冫

はわる

**なりたち** どうしようかと考える意味の疑と、氷の意味の(冫)との会意形声字。流動する水が凍結するように、動きやすい心をじつと集中させること。思いを「こらす」こと。また、気体や液体が固体になること。



いみじゆくこ

▼こらす。集中する。  
凝視：じつと見つめること。  
▼固体になる。かたまる。  
凝固：こりかたまること。特に液体や気体が固体になること。

凝結：こりかたまること。特に気体が液体になり、液体が固体になること。  
凝集：こりかたまって、一つに集まること。  
凝縮：こりかたまって小さくなること。特に気体が液体になること。

▼じつと動かない。  
凝然：じつと動かない様子。  
凝滞：とどこおって動けないこと。

**よみかた** 凝り性



# 走

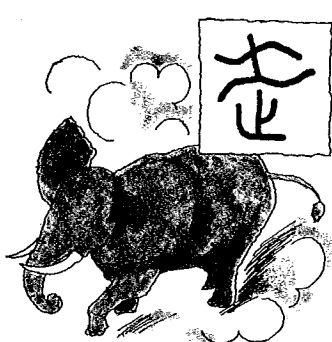
ソウ  
はしる

〔2年〕

7画  
一 十 土 丰 丰 走

**なりたち** 人の走る形を表した土が「つち」と同じ形なので区別するために足の意味の艹を加えた、土と艹との会意字。

音のソウは足の変化したものの「はしる」こと。転じて、物事を「急いでする」意味に使う。



いみじゆくこ

▼はしる。  
走破：困難な長い距離を走りとおすこと。  
快走：気持ちよいほど速く走ること。

独走：①独りで走ること。特に他を引く離して走ること。②独りだけ勝手に行動すること。用例 君だけ独走しては困る。  
暴走：①乱暴に走ること。また、乱暴に車を運転すること。②運転する人がいない車が走り出すこと。

奔走：かけ回って、物事がうまくいくように努力すること。  
急いでする。  
走筆：筆を走らせること。急いで文章を書くこと。

**さんこう** 特別なよみかた↓ 師走

# 走

## 越

エツ  
こす・こえる

はわる

12画  
十 丰 走 越 越

**なりたち** 急いで行く意味の走と艹との形声字。急いで行く時には、途中で障害物があってもそれを乗り越えて行く。「のりこえる」ことを表した字。「こえる」こと。また、「こす」こと。転じて、「優れている」こと。

越境：境界を越えて、他の領分に入ること。例 越境入学 (他の学区の学校に入学すること)。  
越権：自分に与えられた権限を越えた事をする。  
超越：①とび越えること。②けたはずれに優れていること。③俗世間を離れること。④気にしないこと。用例 利害を超越する。

越年：年を越し、新しい年を迎えること。  
▼優れている。  
卓越：他よりとびぬけて優れていること。

優越：まさり優れていること。  
优越感：自分は他より優れていると思う感じ。例 劣等感

**よみかた** 越冬・繰り越し・上越・年越し